芳賀の法人

200号記念特集号

秋 2016
No. 200

発行所／一般社団法人　真岡法人会
栃木県真岡市荒町 2055 番地
発行人／石坂　博
☎（0285）83－3477
編集人／石田　順一

法人会 消費税期限内納付 推進運動

そばの里まぎの（茂木町牧野）

那須山麓より発した清流那珂川が
東へと大きく方向を変える
ここ牧野地区は
河岸段丘にある集落で
近年そば作りが盛んである
コスモスが秋風に揺れる9月下旬
大地は一面白いそばの花で
埋め尽くされる
那珂川には落ち鮎や鮭の遡上が
見られ秋が一段と深まるころ
正面鎌倉山からの雲海は
訪れる人を魅了する

県連会員研修会

高い技術力と危機管理で大企業に対抗

”真田幸村”から学ぶ生き残り戦略

平成28年度県連会員研修会は、去る9月16日（金）に鬼怒川観光ホテルに県下8法人会から２００余名の会員が参加して行われました。（当法人会から24名参加）

今年も研修会は2部構成で行われ第1部では、宇都宮税務署法人課税部門の國藤法人統括官が「調査よもやま話」をテーマに、自身が長年税務行政に携わってきた中で、実際に経験された調査事例を参考にお話しされ、最後に正しい申告納税制度に対する理解をもとめました。

第2部は、元日経新聞記者・テレビ東京「ＷＢＳ」のキャスター等を務め、現在経済評論家として活躍中の岡田晃氏を講師に迎え、「真田幸村から学ぶ～激動の時代を生き抜く企業戦略」と題してご講演をいただきました。

今、ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」が人気を集めていますが、岡田氏は1時間半以上に及ぶ講演の中で「真田家」の生き残り戦略について次のように纏めました。

「真田幸村の一生は激動の時代をあっという間に通り抜けたようなもので、残念ながら勝者とはなれなかった。しかし徳川軍を相手に何度も苦しめ、最後には肝を冷やさせるほどに追い詰め、歴史上にその名を刻んだ。真田の強さの特徴は、何といっても戦闘能力の高さ、一族の結束力、そして危機管理である。これを現代になぞらえれば、中小企業がその独自の高い技術を磨き、経営者と社員が一丸になって大企業をも打ち負かすほど力を発揮したようなものだ。危機管理もしっかりしており、まさに中小企業の経営にとって必要な要素が揃っている。実はもうひとつ、真田親子は現代の中小企業の経営にとって重要なヒントを残している。それは事業承継である。信幸・幸村兄弟は昌幸が真田家の生き残りのために必死で生きた姿を見ながら、また助けながら成長してきた。その結果、信之（改名）は徳川政権の下で真田家が安泰となるよう努力し、明治まで続く真田藩の基礎を作ったことである」と熱く語りました。

第30回全国青年の集い　北海道大会

青年部会長　秋山康雄

平成28年9月9日北海道旭川市で行われた法人会全国青年のつどい北海道大会に参加してきました。「Be Ambitious! Action!」を大会スローガンに掲げ、盛大に開催されました。

部会長サミットにおいても今後ますます青年部会を発展させるためにはどうしたらよいか？われわれ青年部会員が結束して何をすべきか熱く議論が交わされました。

記念式典に続く記念講演会では、２０１４年のソチオリンピックスキージャンプ競技で個人団体共に銀メダルを獲得した葛西紀明氏が講師でした。葛西氏は44歳の今でも世界の第一線で活躍し「レジェンド（伝説）」と称賛されています。講演の内容は、葛西氏の長年にわたる練習での努力の大切さや家族を大切にする気持ちなど、私たちの日々の生活や仕事に役に立つお話でした。

次の機会にも、青年部会のメンバー多数で参加したいと思います。

青年部全国大会に７名が参加しました

郡内の各首長に提出！

平成29年度税制改正提言書

左から　篠原益子支部長、廣田議長、大塚町長、岡教育長

左から　井田真岡市長、石坂会長、斎藤税制副委員長、新井二宮支部長

左から　入野町長、阿部市貝支部長、河野税制委員

左から　髙松茂木支部長、永井税制委員、古口町長

法人会は、税のオピニオンリーダーとして公平で健全な税制の実現をめざして、会員企業の意見や要望を反映しながら税のあるべき姿や将来像を見据えて建設的な提言を行っています。

平成29年度税制改正に関する提言は、昨年12月に県下8法人会の役員、税制委員、会員を対象に税制改正に関するアンケート調査を行い551名から回答が寄せられました。この調査結果をもとに県法連・税制委員会が鋭意取りまとめたものです。

真岡法人会では、9月中に真岡税務署管内の5市町の各首長、議長、教育長に対して、地方行政運営等の改革について各支部長、税制委員から提言書により提言活動を行いました。

左から　見目町長、杉田芳賀支部長、堀内税制委員長

入会者をご紹介ください。

ただいま、会員増強運動実施中です！

本年度も法人会組織の拡充を図るため、10月から12月までの3ヶ月間、会員増強運動を実施中です。現在、執行部を中心に新設法人、未加入法人に対して加入推奨を行っていますが、会員皆様におかれましても、お知り合いの企業がございましたら是非ご紹介下さるようお願い致します。紹介者には些少ですが謝礼を差し上げます。お問い合わせは、社団本部（☎0285-83-3477）または各支部事務局までご一報いただければ大変幸甚です。

会員の皆様へ

会員親睦ゴルフ大会のお知らせ

会員の交流・親睦を図る目的でゴルフ大会を計画しましたので奮ってご参加ください。開催要領は下記の通りです。

【日　　時】**平成 28 年 11 月 25 日（金）**

【場　　所】ゴールデンレイクスカントリークラブ
（住所）真岡市三谷 827 ☎ 0285-75-0121

【参 加 費】①プレー費　6,500 円（昼食、ワンドリンク付き）
②懇親会費　5,000 円（賞品代、飲食代等）

【表 彰 式】忘年会を兼ねて、真岡市さくら「松喜」で表彰式を行います。（松喜）☎ 0285-74-0130
※忘年会のみの参加者も承ります。会費 4,000 円

【参加資格】真岡法人会会員

【競技方法】18 ホール・ストロークプレー（新ペリア方式）

【参加申込】各支部事務局へご連絡ください。

【主　　催】一般社団法人真岡法人会　（幹事）二宮支部

実務者講演会のご案内

下記要領により講演会を開催いたします。会員みなさまのご参加をお待ち申し上げます。なお、非会員・一般の方も無料で聴講できます。

【日　時】平成 28 年 12 月 7 日（水）午後 3 時

【会　場】真岡商工会議所「大ホール」

【講　演】第 1 部メンタルヘルス対策
演題「ストレスチェック制度について」
（講師）（AIU 損害保険委嘱講師）
第 2 部　実務者講演会
演題「先端火力発電への取り組み」
（講師）松原勝己氏
㈱神戸製鋼所電力事業部門
真岡建設本部総務グループ長

【主　催】一般社団法人真岡法人会

【共　催】関東信越税理士会真岡支部／真岡間税会

平成 28 年度「税を考える週間」における行事予定表

月日	曜日	会議・行事等	開始時刻	場所
11/10	木	ラジオ放送出演による広報 出演：真岡税務署　三瓶署長	16:45	CRT 栃木放送
11/14	月	特別記念講演会 講師：中尾正俊　氏 宇都宮ライトレール株式会社 取締役運輸企画部長	13:30	芳賀町農業者トレーニングセンター 2 階研修室
		税を考える週間　記念講演会 講師：関東信越国税局長	13:30	栃木福祉プラザ （宇都宮市）
11/15	火	相続税等の無料相談会（関信越税理士会真岡支部）	10:00	真岡商工会議所
11/16	水	納税表彰式	15:00	真岡市市民会館小ホール
11/23	水	真岡市産業祭での街頭広報	10:00	真岡市民広場
12/7	水	税を考える週間実務者講演会 講師：㈱神戸製鋼所電力事業部門　松原勝己氏	15:00	真岡商工会議所「大ホール」

ENEOS
あなたのカーライフと
ホームエネルギーの
パートナー
JXエネルギー特約販売店
稲見産業有限会社
芳賀郡茂木町茂木14
TEL0285-63-0035

あさひ納豆
創業
明治23年
㈱ヘルシーフーズワタナベ
芳賀郡茂木町茂木 259
代表取締役　渡辺成行
TEL 0285(63)1578 FAX 0285(63)1734

支部活動

世界を駆けたママさんランナー
赤羽有紀子さん講演会

真岡支部女性部の文化委員会では、9月26日（月）午後2時よりフォーシーズン静風において、北京オリンピックにも出場された元マラソンランナーの赤羽有紀子さんの講演会を広聴しました。

講演会では、赤羽さんが大切にされている「笑顔と素直な心」という言葉をテーマに、結婚・出産後も専任コーチである夫に支えられ、日本では前例のなかったママさんランナーとして、出産後も競技を続け、オリンピックを目指した経験をお話しくださいました。

講演会を通して、笑顔と素直な心の大切さ、周りの人の考え方や意見を素直に聞き、尊重し合うことの大切さや同じ女性として、子育てと競技を両立して第一線で活躍された赤羽さんのお話に感銘を受けました。

赤羽さんが芳賀町出身ということもあり、40名以上の会員の参加をいただき盛会に文化事業を終了しました。

お知らせ

第2回税金クイズ
11／23真岡市産業祭会場で開催

法人会真岡支部では、来たる11月23日（祝日）真岡市民広場で開催される第34回真岡市産業祭に出展することを決め現在準備を進めています。

市民参加型のイベントとして取り組んでおり、今年が2回目の出展で児童を対象に親子で参加できる「税金クイズ」にチャレンジしてもらおうという企画です。

また、法人会テントでは女性部会主催による「税に関する絵はがきコンクール」の優秀作品を展示するほか、真岡税務署、納税貯蓄組合、真岡間税会のコーナーを設け、税に関するパンフレットやティッシュ配布も行う予定です。

（クイズの問題）

1億円の重さは何キログラム？

答えは、11月23日の真岡市産業祭会場で。

総合建設業
植田建設株式会社
代表取締役
植田祥洋
ISO9001
ISO14001
認証取得
〒321−3531
栃木県芳賀郡茂木町大字茂木153
TEL　0285−63−2961
FAX　0285−63−3614

機械導入しました。(^_^)
オリジナルTシャツ
1枚から受注受付
（写真もOK!!）
※本職は看板屋です
株式会社 オベロン ☎0285-63-5456

東京五輪を特需に終わらすな

日刊工業新聞社　岡田直樹

リオデジャネイロから東京へ、オリンピック・パラリンピックのバトンが渡された。2020年東京大会は公共事業などを通じた日本経済の活性化に期待が高まる一方で、「東京や一部の大企業が潤うだけなら、東京と地方の格差が拡大しかねない」と経済効果の偏りを懸念する向きもある。

1964年東京大会は公共投資で9895億円、波及効果を含めると2兆円近くの経済効果があったといわれる。2020年大会の経済効果は桁違いに大きい。日銀の試算では、観光や建設の需要増加により、14年から20年までの実質国内総生産（GDP）の押し上げ効果は累積で約25～30兆円に達するという。だが特需に終わらせてはならない。大会遺産を中小企業の競争力強化や地方創生に生かせる仕組みをつくり、五輪の新たな価値とともに、成熟した21世紀の日本にふさわしい、しなやかな叡智を世界に示したい。

今年4月、国や東京都、大会組織委員会の調達案件や官公庁の入札案件を掲載し、中小企業のビジネスマッチングを後押しするポータルサイト「ビジネスチャンス・ナビ2020」が開設されたことは、そうした試みの第一歩と受け止めたい。運営にあたる東京都中小企業振興公社では、年末までに1万社の登録をめざし積極的に利用を呼びかけている。加えて、大会遺産を地方の中小企業が受注機会の拡大などに生かせるよう、東京大会に製品やサービスを提供した企業に官民連携組織などが〝お墨付き〟を与える日本版「供給者認証スキーム」の創設を提案したい。

英国は12年ロンドン大会の経済効果を中小企業や地方へ波及させることに成功している。その基盤になったのが、公共調達で売り手と買い手を繋げる「コンピート・フォー（Compete For）」だ。官民連携組織が運営する無料のウェブサイトサービスで、事業者の登録情報を検索できる。これまで18万5000社を超える企業が登録し、1万6000件を超える事業に利用されている。注目すべきは受注した企業の75％が中小企業で、しかも3分の2はロンドン以外の事業に利用されていることだ。

そこには「供給者認証スキーム」という、もう一つの仕掛けがある。英国オリンピック委員会が大会関連受注企業に対して申請に基づきライセンスを付与することで、単独では発信力が弱い地方の中小企業でもロンドン大会の実績を海外にアピールできる。ライセンスを強みに14年ブラジル・ワールドカップやリオ大会では、総額1億2000万ポンド（約191億円）の契約を受注できた。「コンピート・フォー」で参加企業の裾野を広げ、「供給者認証スキーム」で大会遺産の効果を持続させている。日本でも地方の中小企業が大企業と連携し、東京大会の招致や運営のノウハウをパッケージ化し

地域に貢献する総合建設業
有限会社　高松建設
ツインリンクもてぎ南口 200m
もてぎ舟木沢ログの森キャンプ場
TEL 090－7222－4612
ホームページ　もてぎ舟木沢　検索

地域に支えられお陰様で
有限会社60周年！！
★総合衣料
★インテリア事業部（内装他）
有限会社渡国商店
TEL・FAX　0285－63－0253
茂木町茂木 268（茂木高グラウンド東隣）

たうえで供給者認証によるライセンスを強みに、国内外で行われる様々なスポーツイベントを組成できれば、日本製品の需要拡大や輸出促進に期待が持てよう。さらにはイベントの組成を通じて、文化的、歴史的な魅力を海外へ継続的に発信できれば、外国人客を呼び込み、観光大国実現の後押しになるかもしれない。ただし系列取引が中小企業の参入を妨げることがないよう、大手の発注企業には非系列企業から一定割合を調達するルールを課したり、大会後に製品やサービスの品質を担保したりする仕組みづくりが課題になろう。英国のモノマネではない、モノづくり立国の心意気や創意が溢れるものにしたい。

20年東京大会は、新国立競技場建設計画やエンブレムの白紙撤回など、出だしから不手際が続く。巨大なハコモノづくりに傾斜し、内実が不透明なまま会場整備費が膨れあがっていることに不信感が募っている。ハコモノは整備費のみならず、将来世代に維持費というツケを残す。今からでも遅くはない。クリーンでスマートという初志に立ち返るためにも、ハコモノはできる限り簡素にし、大会遺産を中小企業振興やソフトパワーの海外発信に活かせる道筋づくりに知恵を絞りたい。

【筆者紹介】
岡田直樹（おかだ・なおき）
1984年日刊工業新聞社入社。記者として、さいたま総局、金融、電機、情報通信、経済産業省、総務省、金融庁、内閣府などを担当。論説委員、南東京支局長、論説委員長、日刊工業産業研究所長を経て、企画調査部長。埼玉県出身、57歳。

決算期別説明会のお知らせ

＜日時＞平成28年11月9日（水）
午後2時

＜会場＞真岡商工会議所
「第一中会議室」

＜対象＞10月　11月　12月決算

職場の花

はが野農業協同組合茂木支店

大関　花純さん

平成27年4月1日入組。農協茂木支店の貯金窓口を担当しております。地域の皆様に支えられながら早いもので、入組してから一年が経ちました。

入組した当初は毎日とても不安でしたが、少しずつ業務にも慣れ、地域の皆様に顔を覚えていただけるようになり、声をかけて下さる事が毎日とてもうれしく感じております。

休日は外に出かけることが多く、私は体を動かすことが好きなので、様々なスポーツを体験したり、また旅行に出かけたりして過ごしています。

窓口担当として、明るい笑顔とわかりやすく丁寧な対応を心がけ、一人でも多くの方に気持ちよくご利用して頂けるよう努力して参りますので、ご来店の際はどうぞお気軽にお声かけ下さい。

今後もよろしくお願い致します。

法人会の経営者大型総合保障制度
広げよう
企業保障の
大きな傘を

法人会の「経営者大型総合保障制度」は
昭和46年に発足し、
会員のみなさまと共に歩んでまいりました。
これからも会員のみなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社
宇都宮支社/栃木県宇都宮市大通り4−1−18
TEL 028−622−2641

AIU Member of AIG　AIU損害保険株式会社
宇都宮支店/栃木県宇都宮市大通り4−1−18
（宇都宮大同生命ビル8F）TEL 028−627−3011

創刊200号によせて

お陰様で広報誌「芳賀の法人」が創刊２００号!!

一般社団法人真岡法人会
会長　石坂　博

広報委員長　石田順一

昭和38年12月に芳賀郡市法人会連合会創立以来、会員企業の皆様への情報発信手段として広報誌「芳賀の法人」の発行を続けてまいりましたが、お陰様で本号（平成28年10月号）が記念すべき通算２００号の発行となりました。

昭和42年12月の創刊号から毎年４回（昭和60年～平成６年は５回）約50年の永きにわたって発行できましたことは、これもひとえに会員企業の皆様、諸関係機関・団体、そして、創刊時より今日まで広報発行に携わっていただきました多くの広報委員皆様に対しまして深く感謝を申し上げます。

紙面は、税務・税制に関する情報や法人会主催の各種研修会、講演会、租税教育・社会貢献活動や親睦事業、更には会員企業の紹介、各地域の情報発信など、半世紀に亘り当会の歴史と共に歩んできた広報誌「芳賀の法人」は、現在１１６５社の会員企業と管内金融機関２１行、商工団体、税理士会など関連先へ約５００部お配りしております。

これからも会員の皆様と真岡法人会の架け橋として発行を続けてまいりますので、引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ごあいさつ

真岡税務署長　三瓶　伸一

「芳賀の法人」２００号の記念誌発行に寄せて、ひとことごあいさつ申し上げます。

一般社団法人真岡法人会の皆様におかれましては、日ごろから活発な会活動を通じて税務行政全般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴法人会におかれましては、「よき経営者をめざすものの団体」として、各種の研修会、講演会等の開催や、広報誌の発行を行うほか、地域に密着した社会貢献活動など様々な事業を積極的に展開され、法人会の基本指針でもある「納税意識の向上と企業経営および社会への健全な発展」に大きく寄与されております。特に法人会の会報誌は、法人会がどのような活動を行っているかを広く知らしめ、また、税務に関する各種情報を発信するなど、法人会事業において重要な役割を担っております。

「芳賀の法人」は昭和42年12月に創刊されて以来、49年の長きに亘り発行を重ね、今回２００号の記念誌発行を迎えたことに対しまして、広報委員会をはじめ会員の皆様に深く敬意を表する次第であります。

ところで、皆様もご承知のとおり、本年３月の税制改正により、消費税率の引き上げと同時に「軽減税率制度」を導入することとなりましたが、８月24日に「消費税率の引き上げ及び軽減税率制度の導入を平成31年10月に２年半延期する。」税制改正案が閣議決定されました。国税当局は税法の執行機関であり、定められた制度を円滑に導入・実施していくことが私どもに課せられた役割でございます。今後も必要な情報につきましては、随時、皆様にお知らせしてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、一般社団法人真岡法人会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご繁栄を心より祈念申し上げまして私のあいさつとさせていただきます。

「芳賀の法人」を顧みて

元広報委員長
入江　竹司

（昭和42年度～昭和63年度）

此の度、芳賀の法人２００号が発刊されますこと心からお祝い申し上げます。

昭和42年12月の創刊から１００号までの20数年間、私の趣味が写真であったことから表紙を担当させていただきました。

第56号　小深の那珂川

しかし創刊ということで前例がなく、私にとっても会報誌の制作は初めての経験でしたのでたいへん困りました。そしていろいろ悩んだ結果、会報は税に関する広報誌ということで内容が硬くなる傾向を考慮して、なるべく親しみ易い表紙を作ることを心がけてスタートしました。

写真の題材は管内５市町から風景・歴史・故事を中心に訪ね歩き取材しました。当時の広報誌を見ながら振り返りますと妻と一緒に夜遅くまで原稿作りをしたこと、取材の時の情景や親切に教えていただいた人たちのこと、題材探しに苦労したこと、税務署の方々に大変お世話になったことが懐かしく思い出されます。

２００号の発行によせての表紙写真とその思い出を載せさせていただきました。

２００号発刊を迎え、会員の皆様とともに「芳賀の法人」のさらなる飛躍と、今後益々皆様に愛される会報誌になることをご祈念申し上げます。

秋

鎌倉山に夕日が落ちかかって
晩(おそ)い秋の　白い風が　岸の木々の葉を
さわがせる。
那珂の川面(も)が　きらめく。
きらめきの中に　川舟がひとつ。
船は動かず、時に人は竿を振る。
時間が　止まったような
静かな　広い風景。

――茂木町　小深で――

編集の思い出

元広報委員長
大根田　旱和

（平成6年度～平成10年度）

「芳賀の法人」２００号の発刊おめでとうございます。

思い起こせば私が編集委員長の大役をおせつかり編集を始めたのが第１１２号（平成６年５月）から第１３０号（平成11年４月）までの18号の発行でした。

時の真岡法人会会長は入江竹司様。広報委員長を長く務められた奥原務様が芳賀の法人の発行には多大な功績を残されたと思います。健筆をふるい名文をしたため得意のカメラを下げては芳賀郡市内を訪ね歩き美し

お歳暮ギフト　年賀状早期割引受付開始
クリスマスケーキ　予約受付中
有限会社オー・エム商事
真岡酒販株式会社
代表取締役社長
諸伏勇治
セブン-イレブン
ELEVEN
真岡並木店（82）3654
下高間木店（84）2006

MaTsuYa 松屋旅館
ビジネスホテル エンドレス
代表取締役　石坂茂紀

い写真を数多く撮って表紙を飾ってくれました。

前委員長の様なことは、私には到底出来ないと思い不安と困惑の中、やむ無くお引き受けした事を今でも鮮明に憶えております。

毎号、各地区の本当に優秀な編集委員の多大なご協力とご支援のお陰で発行を滞ることなく続けられ今でも皆様方への感謝の気持ちは忘れません。

時には各地区に出向き美味しい食事をしながら談笑。また、年に一、二回のゴルフをして親睦を深め、今思うと楽しかった事が多々あり懐かしく思い出されます。

平成11年には社団化10周年記念事業の一環として記念誌「10年のあゆみ」の冊子を編集発行させた事も良き思い出です。

編集は大変な時もありましたが苦労の末に出来上がった会報を手にした時は充実感と達成感、それに、読んでもらえる喜びも知りました。

今後も会報が一層発展され、会員の皆様に愛され、かつ関心を持って読んでもらい、待ち望んでもらえるような広報誌がずっとこれからも継続されますようご祈念申し上げます。

第124号　磯山（真岡市東大島）

200号発行によせて

元広報委員長
渋谷　恒男
（平成11年度～平成16年度）
（平成21年度～平成22年度）

真岡法人会機関紙『芳賀の法人』200号刊行おめでとうございます。編集委員の皆様ご苦労様です。創刊号が昭和42年12月発刊、10周年記念誌刊行、100号記念誌刊行、社団化10周年記念誌刊行、この度200号記念号刊行。これからも法人会がある限り末来に向かって『芳賀の法人』は続くでしょう。歴代編集委員の皆様、現編集委員の皆様と関係者の皆様、本当にご苦労様です。

『芳賀の法人』の誕生は昭和37年11月に、芳賀郡市6法人会が設立「真岡法人会、二宮法人会、益子法人会、茂木法人会、市貝法人会、芳賀法人会」昭和38年12月「芳賀郡市法人会連合会」結成され会長仙波正重氏就任。昭和42年12月芳賀郡市連合会、会報第1号刊行。昭和44年8月会報名称『芳賀の法人』に変更なる。以後現在に至る。

昭和62年6月より二宮法人会杉村広報委員の後を継ぎ、広報委員となり78号より編集会議に参加しました。最初は右も左も分かりませんでしたが入江広報委員長、奥原委員、柳委員、益子町飯塚委員、茂木町渡辺委員、芳賀町菅谷委員、市貝町小宅委員、皆さん和気あいあいに対応して下さいました。特に奥原委員は公私ともにお世話になりました。有難うございました。その後、大根田委員長、入江光夫委員長にもお世話になりました。時代は昭和から平成に178号まで編集会議に参加させて頂き、後輩に道を譲りました。広報委員会は芳賀郡各市町の代表の方々なので、昼も夜もお世話になり、勉強になりました。特に茂木での編集会議の時、植田建設社長に色々と気を使って頂き大変お世話になり、あり

不動産のことは
（株）AKIYAMA　検索
で検索してください。
株式会社 AKIYAMA
代表取締役　秋山康雄
〒321-4361 真岡市並木町3丁目105番地7
TEL0285-84-5557 FAX0285-84-5609

フォーシーズン静風
FOUR SEASONS SEIFU
〒321-4306 栃木県真岡市台町 11-8
PHONE.0285-82-3388 ㈹
FAX.0285-82-3391
URL http://www.fs-seifu.com
E-mail info@fs-seifu.com

がとう御座いました。又、紙面の都合で、お名前を書けない広報委員の方々、お世話になり有難うございました。

第145号　芳賀富士（大平山）益子町芦沼

芳賀法人の思い出

元広報委員長
入江　光夫

（平成17年度～平成20年度）

長い道のりで会報が200号まできました。ほんとうにおめでとうございます。

昭和42年12月に創刊号、第1号が発行され、スタートしました。平成4年1月に100号が発行され、今年度に200号が発行されます。1号から200号まで約50年経ちました。その間日本の経済はバブル崩壊後の不況、消費税導入の戸惑いなどいろいろな問題がありましたが、会報は一回の欠版もなく200号まできました。感動でいっぱいです。これも会員同志の絆を心一つにしてしっかり結び、協力と努力の力であると称賛しております。

私が芳賀法人の会報の編集の大役を受けた時、会報の表紙と文章のことで頭がいっぱいでした。しかし会員皆様のご協力により歩き始めたところ、表紙と文章もすばらしく良く出来ました。特に芳賀地方に伝わる民話で、田町海潮寺の「蛇姫さま」や茂木町の「朝日堂夕日堂」など載せたときは、大変喜ばれたことが思い出の一コマに残っております。

会報によって、会員と家族の皆さんがいろいろな情報を得ることが出来るので、楽しみにしておられます。このようなすばらしい会報がさらに300号、400号と進み続け、益々の発展をご祈念申し上げ、会員の皆様のご活躍を期待いたします。

200号おめでとう！！

第158号　海潮寺「蛇姫さま」（真岡市田町）

総合印刷 有限会社
Yanagi 柳印刷所
〒321-4305 栃木県真岡市荒町1088
TEL.0285-82-2322 FAX.0285-84-4277

大原グループ
大原葬祭会館
真岡市白布ヶ丘22-12
最近『家族葬』に関する内容や金額のお問い合せが多くなっています。家族葬とひとことで言いましてもスタイルは様々です。
当社では、お客様のご要望に添った最良のプランをご提案いたします。お気軽にご相談くださいませ。
家族葬ホール アネックス
真岡市並木町2-7-9
家族葬の事
何でもご相談ください
お電話 0285-83-4111

企業紹介

有限会社 わたくに商店

弊社は、県立茂木高校グラウンドの東側に位置し、今年で、有限会社創立六十周年を迎えます。これまで長く続けられたのも、地域の皆様に愛され支えていただきましたおかげと感謝しております。

創業当初は、衣料品の卸販売のみでしたが、昭和四十一年からは店舗を構え、小売も始めました。現在では、衣料品の販売だけでなく、新たにインテリア事業部を併設し、内装及びカーテン等も取り扱っています。時代のニーズに合わせた事業を展開しています。

年六回行われます売出しでは、毎回多くのお客様にご来店いただき、買い物と楽しいお茶のひとときを過ごしていただいています。売出し前には、関西方面に仕入に行き、お客様一人一人の好みに合わせて衣料品を仕入れてきます。また、売出し当日には、手作りのお赤飯や煮物でおもてなしをします。そして、みなさんでのおしゃべり。毎回これを楽しみに来て下さるお客様が大変多く、ありがたく思っております。地域に密着しているからこそできることではないでしょうか。十月には店舗をリフォームし新たな気持ちで出発して参りますので、是非ご来店下さい。そして、これからもどうぞよろしくお願い致します。

サワ精機株式会社

弊社は東京・練馬区から茂木町に製造拠点を移し、47年の歴史を数えています。地域に根差した企業として、地元の皆様と共に交流発展を図り活性化に努めてまいりました。主な製造業種は、精密機械加工、プラスチック射出成形、光学及び医用機器組立、精密部品塗装・印刷の4部門があります。お客様のニーズにお応えし常に一級品質を目指し、信頼される製品と魅力あるものづくりに挑戦しています。

精密機械加工では、最新型のCNC旋盤、マシニングセンタを導入し、金属材料（アルミ、真鍮、鉄、ステンレス等）の精密形状加工が得意の分野です。成形機は18t～100tまで保有し、デルリン、ポリカーボ、ノリル、テフロン等の材料による小物系の成形品を製造しています。これらの品質を測定する設備として、画像ユニット付顕微鏡、真円度測定器、工具顕微鏡等の測定機器を保有し、ミクロン（μ）オーダーでの測定データの管理・保存実施。又、組立部門では光学機器、医用機器の難易度の高い精密な部品を一貫加工し、組立完成品までの生産を行っています。塗装・印刷は、高級外観品質の要求に対して経験実績がある手塗り技能による自在仕上げが可能です。

医用機器部門ではISO13485を取得。ISO9001では品質、コスト、納期を遵守し、我社のスローガンである『みんなの創意と工夫で目指せ、生産性の向上と不良品の撲滅を』合言葉に一丸となって取組んでいます。更にISO14001では資源の大切さを認識し、環境保全とリサイクル化を推進しており、ハードルが高い目標でもやればできるという自信に繋げています。

今後も地域社会の発展に貢献し、顧客に信頼される製品を提供してゆく所存です。

製造製品例